

宗像市議会  
議長 花田 鷹人 様

予算決算第2特別委員会  
委員長 岩岡 良

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

### 記

第72号議案から第79号議案までの8議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、令和元年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

### 第72号議案 令和元年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 971万2,400円（前年度比 7.2%減）  
歳出決算額 768万7,222円（前年度比124.5%増）  
歳入歳出差引額 202万5,178円
- 2 貸付金の回収を債権回収業者に1件委託したが、回収には至らなかった。平成29年度から委託しているが成果が上がらなかったため、令和2年度は委託を見送っている。
- 3 滞納者のうち2件について訴訟を提起し、市の主張を全面的に認める判決を得た。今後は判決結果をもって滞納者や連帯保証人の資力等を調査し、支払い能力がない場合は県の償還推進助成制度を活用する。

#### 【意見】

（賛成意見）

- ・債権の回収に当たっては今後も創意工夫を行いつつ、コロナ禍による事情も考慮しながら、丁寧に進めてほしい。
- ・この事業が同和対策として実施されてきた経緯を踏まえると、行政には丁寧な対応を求める。また、この債権については放棄も検討し、経営資源を本来の人権対策に振り向ける転換期にきていると感じる。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

## 第 73 号議案 令和元年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 101億3,433万6,709円（前年度比0.4%増）  
歳出決算額 98億1,551万4,764円（前年度比1.5%減）  
歳入歳出差引額 3億1,882万1,945円
- 2 単年度収支は約1億8,100万円となり、黒字決算となった。これは、保険者努力支援交付金の増額による歳入の増が要因である。
- 3 医療費適正化の取組として、レセプト点検、柔道整復師施術療養費支給申請書の点検強化や頻回受診者への照会文書送付、医療費通知の発送などを行った。
- 4 ジェネリック医薬品の使用促進では、先発医薬品の代わりにジェネリック医薬品を使用した場合の差額を記載した差額通知書の発行やジェネリック希望カードの配布などを行い、効果額は3,674万3,870円となった。
- 5 全国の状況と同様に宗像市でも1人当たりの医療費は増加傾向にある。伸びが顕著である入院医療費抑制のためにも、特定健診などを通じて疾病の早期発見・早期治療を促すことで重症化予防に取り組む。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,258万9,727円（前年度比14.7%減）  
歳出決算額 7,162万3,149円（前年度比15.0%減）  
歳入歳出差引額 96万6,578円
- 2 歳入決算額減少の要因は、インフルエンザが流行しなかったことに伴う若年層の受診の大幅減と市債の皆減によるものである。歳出決算額減少の要因は、人事異動による医師の件数減少と平成30年度に行った医療機器の新規購入や診療所及び宿舍の修繕工事の費用の減額である。

### 【意見】

（賛成意見）

- ・特定保健指導については日々の取組を高く評価する。また、趣旨普及費においては今後もコストパフォーマンスの向上に努め、その分新規の取組を行うなどの試みを要望する。また、協会けんぽとのデータ共有による連携については、他自治体の動向を調査し、検討してほしい。
- ・適切な収納、レセプト点検等による医療費適正化の取組、差額通知の発送などによるジェネリック医薬品の普及促進の取組について職員の努力を評価する。

（反対意見）

- ・宗像市は他の自治体に比べて滞納者数は少ないが、資格証明書あるいは短期被保険者証の発行が多いことが問題である。
- ・保険税の均等割において、子どもを賦課の算定対象とする制度は問題であると指摘し、他市町村の状況を踏まえて免除等の検討を要望する。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にあることを考慮し、基金の活用等による保険税の据置きを要望する。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 74 号議案 令和元年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 16億6,223万9,719円（前年度比3.8%増）  
歳出決算額 16億1,790万1,140円（前年度比4.1%増）  
歳入歳出差引額 4,433万8,579円
- 2 歳入決算額及び歳出決算額が増加した要因は、いずれも被保険者数の増加によるものである。令和元年度の被保険者数は、前年度比で75歳以上が330人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満は16人減少し、全体では314人、2.3%増となった。
- 3 保険料の現年度分の収納率は99.75%で、前年度より0.18ポイント上昇した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年であれば4月と5月に発送する納付勧奨の通知を控えていたため、6月1日現在で滞納者は136人であったが、その後の相談対応等により現時点での滞納者は53人に減少した。

### 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

## 第 75 号議案 令和元年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 79億4,199万1,954円  
歳出決算額 77億5,358万7,473円  
歳入歳出差引額 1億8,840万4,481円
- 2 要介護認定率は14.3%と微減している。総合事業の開始などにより要介護認定を受けなくても支援が受けられるようになったこと、また、要介護認定を受けている人が少ない前期高齢者に団塊の世代がいることで分母を広げていることが要因と考えられる。
- 3 介護（予防）給付費と地域支援事業費の総額は72億1,614万3,169円で、前年度比で9,812万546円、1.4%増で前年並みの伸びとなっている。
- 4 令和元年度は第7期介護保険事業計画の2年目である。支出において、元年度の計画値に対する実績値の比率は87.9%で、当初計画よりも実績が下回った。
- 5 地域介護予防支援事業で通いの場づくりを担う地域リーダーを養成し、生活支援体制整備事業においては通いの場で活躍する健康づくりリーダーや介護予防サポーターの養成に取り組んだ。地域活動における担い手不足の問題はあるが、講座を開催することにより新たな人材の発掘にもつながっているため、地域における意識の醸成と併せて、少しずつでも人材の発掘を行っていく。
- 6 令和元年度には医療・介護関係者と住民の交流研修会が2日間開催され、合計で124人が参加し、在宅医療についての啓発に取り組むことができた。

## 【意見】

(賛成意見)

- ・地域包括支援センターが6つの日常生活圏域すべてで開設され、サービスが市民に行き届くための職員の努力を評価する。地域での担い手を養成する事業がいくつかあるが、現在は地域での人材不足が問題となっており、地域の担い手養成のためには市民の当事者意識の醸成が必要であり、今後も啓発に努めてほしい。
- ・限られた人と予算で懸命に努力していることを評価する。今後は、地域包括ケアシステムをいかに地域に浸透させていくかが課題である。

(反対意見)

- ・職員の努力は認めるが、制度そのものに問題があると感じる。基金を活用し、高齢者が自立して暮らしていくためのきめ細かい支援の検討を要望する。

## 【審査結果】

委員会は、賛成多数で認定した。

### 第76号議案 令和元年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4,819万5,200円。
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、令和元年度は16合議体で延べ242回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で5,020件で、その割合は宗像市60.8%、福津市39.2%である。
- 3 歳出の主なものは、認定審査会の委員報酬と旅費、審査会の判定資料の精査を行う専門職員の人件費に相当する審査会派遣職員負担金である。
- 4 平成30年度から要介護認定更新の認定有効期間上限が36カ月に変更となったことから、令和元年度の審査件数は減少した。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第77号議案 令和元年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに5億2,841万8,873円。
- 2 令和元年度の乗客数は29万3,653人で、前年度比4.7%減となった。この理由は、世界遺産登録が決定した平成29年度をピークに団体客が減少していることが影響していると考えられる。また、定期利用の乗客数が2万9,100人で、前年度比24.7%減となった。この理由は、島内で行われていた公共事業の終了に伴い、関係者の定期利用が減少したためと考えられる。

3 平成30年度に策定した航路改善計画に基づき、宗像市渡船事業運営審議会の審議を経て、航路再編に係る基本方針を決定した。また、令和2年度末までに同審議会において最終的な航路再編計画の答申を予定している。

#### 【意見】

(賛成意見)

- ・島民の生活を守る渡船事業については、安全運航だけではなく、福祉や教育部門などとも横断的に連携し、離島の活性化につながるような具体的な施策を検討してほしい。
- ・渡船運営健全化のためにも、島民と行政が共に島内産業を創出し活性化に取り組む必要がある。渡船の運営については、まずは事故なく安全・安心な運航を期待する。
- ・航路再編に当たっては、再編後の渡船事業のシミュレーションを事前にしっかり行い、その内容について議会で議論することが必要であると考えている。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第78号議案 令和元年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 4億5,037万4,988円  
歳出決算額 4億3,985万3,102円  
歳入歳出差引額 1,052万1,886円
- 2 令和2年度から漁業集落排水処理施設事業に地方公営企業法を適用し、下水道事業会計へ会計統合したため、令和元年度は年度末で打切り決算を行い、歳入歳出差引額は下水道事業会計に引き継いだ。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で認定した。

### 第79号議案 令和元年度宗像市下水道事業会計決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況(税込み)  
収入決算額 28億 660万 90円  
支出決算額 23億1,824万3,024円
- 2 資本的収支の決算状況(税込み)  
収入決算額 9億4,606万6,394円  
支出決算額 19億5,409万4,525円  
収入不足分は、損益勘定留保資金等で補っている。

- 3 山田地区などでの汚水管渠整備を行った結果、令和元年度末の下水道の普及率は前年度比0.3ポイント上昇し、97.0%となった。また、管渠の総延長は582.5km、処理区域面積は2,621haとなった。
- 4 降水量が多かったため不明水が増加し、有収率は84.4%となり前年度比2ポイント減少した。不明水については、マンホール蓋や公共樹の取替えや管更生などの対策を講じている。

**【審査結果】**

委員会は、賛成多数で認定した。

**第81号議案 令和2年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ102万5千円を増額し、420万3千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和元年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

**第82号議案 令和2年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について**

事業勘定は、歳入歳出それぞれ3億1,834万5千円を増額し、104億7,459万2千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出の予算総額は変わらず、歳入の内訳を補正する。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定は、令和元年度決算額の確定に伴い、3億1,882万1千円を令和2年度に繰り越すが、そのうち1億5,619万6千円を国庫支出金等過年度返還金として県に返還し、残金を基金積立金とする。
- 2 直営診療施設勘定は、令和元年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、事業勘定繰入金を減額する。

**【審査結果】**

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

### 第 83 号議案 令和 2 年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 1,433 万 8 千円を増額し、17 億 109 万 6 千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

歳入で令和元年度決算額の確定に伴い、繰越金を増額する。歳出で令和元年度分保険料収入の確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

### 第 84 号議案 令和 2 年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 1 億 8,839 万 4 千円を増額し、80 億 8,924 万 9 千円とする。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

令和元年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で国庫支出金等過年度返還金と基金積立金を増額する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。

### 第 85 号議案 令和 2 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について

収益的収入及び支出において、収入を 3,150 万 2 千円減額し、収入総額を 31 億 1,969 万 6 千円に、支出を 4,079 万 9 千円減額し、支出総額を 25 億 5,516 万 7 千円とする。資本的収入及び支出において、令和元年度決算額の確定に伴い減債積立金等で補てんする額を改める。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

補正の主なものは、令和元年度決算額の確定によるものである。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。